

市議会だより

■ 6月定例議会

6月23日～30日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉

第32回国際カジキ釣大会 (地元チーム)



6月定例議会

国民健康保険税条例の改正 林道管理条例制定は否決

6月定例議会は6月23日より30日までの8日間にわたり開催されました。

議案は人権擁護委員の推薦について、国民健康保険税条例の一部改正、一般会計等の補正予算などの議案が上程されました。

また、3月定例議会において議員発議された林道管理条例が審査されました。

一般質問は8人の議員が登壇され、共立病院問題について、第4次下田市総合計画について、幼保再編整備基本計画についてなどを質問されました。

国民健康保険税はより税の公平性を考え、応益（均等、平等割）、応能（所得資産割）の比率を50対50により近づけ、税の軽減率を7割・5割・2割として、

低所得者層の税の軽減を図るなどの見直を行ない、約3000世帯の方々が軽減されました。また増税となつた世帯もできる限り負担を少なくする措置がとられ、年間約2200万円の軽減となりました。

次に、3月より継続審査となつていた林道管理条例は6月までの間に6回の臨時委員会を開催し、慎重に審査されました。その結果委員全員林道管理条例の必要性は認められましたが、本提出された林道管理条例は下田市に有る15本の林道を管理するにあたっては、整合性からみてもまだ未成熟であるなどの点から委員会においては賛成2名、反対4名、本会議においては賛成4名、反対9名で否決されました。

今後どのような形であれ、早急に再提出されるように

要望されました。一般会計・国民健康保険、下水道の特別会計補正予算が提案どおりに可決されました。



- 委員長 田坂富代
副委員長 沢登英信
委員 伊藤英雄 土屋雄二
土屋誠司 増田 清
土屋勝利

本委員会に付託されました議案は、議第36号あらたに生じた土地の確認について、議第37号字の区域の確認について、議第39号平成22年度下田市一般会計補正予算（第2号）〈本委員会付託事項〉の3件です。

あらたに生じた土地の確認

産業振興課関係

議第36号と37号は、須崎漁港整備事業の埋め立てに

より出来た新たな土地を確認するものです。質疑の主な内容は、管理者はどこか、登記処理はどうなっているか、事業の評価と利用状況等がありました。市が管理しており、議案の議決後、地番をつけて登記をする。利用計画に基づき利用をしているということでした。



須崎漁港整備事業現地視察

平成22年度下田市一般会計補正予算（第2号）

企画財政課関係

自治総合センターコミュニティ助成金510万円は、宝くじによる助成金です。

助成内容は、区長会・子ども神輿230万円、下大沢地区・高所作業機150万円、須崎地区・須崎集会所掲示板130万円です。

地区集会場建築補助金114万4千円は、岩下区（雨漏り等）92万4千円、大和区（床張り等）8万円、蓮台寺区（畳張替え等）14万円で、下田市地区集会所建築補助金交付要綱に従って、交付されるものです。

宝くじ事業の自治総合センターコミュニティ助成金は、国の事業仕分けにより、今後はどうなるかわからないとのことでした。

税務課関係

臨時雇用創出分190万7千円が計上されました。内容は口座振替の作業がメインで、GISデータの照合したものを、土地課税台帳に入力し、画地小規模住宅等のデータ確認も行ってもらう予定とのことでした。

稲梓・大沢地区をモデル的にやってみよう、来年度以降の事業実施の為のデータとするということでした。

福祉事務所関係

生活保護適正実施推進事業の増額補正で、今まで臨時雇用で対応していたレセプト点検を、業務委託に切り替えたためのもので、全額国の補助金となっております。

生涯学習課関係

芸術文化振興事業に125万6千円が追加されました。これは国指定史跡保存修理事業補助金ということ、玉泉寺ペリー艦隊乗員の墓地保存修理事業補助金として当初予算に41万円計上されたものですが、県費補助金と同額を補助するための補正ということでした。

質疑の主な内容は、所有者は誰なのか、市が所有者と話をしたのか、了仙寺さんへ出した補助金は41万円だったかどうか、今回の補助金は特別なのか等の質問が出されました。

所有者は米海軍であり市長・副市長ともにお話をされている。了仙寺さんにお話に向ったところ、終わった

産業厚生 常任委員会

委員長 鈴木 敬
副委員長 岸山久志
委員 藤井六一 土屋 忍
増田榮策 大黒孝行
森 温繁

下田市国民健康保険税 条例の改正について

また、下田市の国指定はどのくらいあるのか、所有者と管理者が違うものは、他にもあるのかという質問があり、国の指定は7か所で、所有者と管理者が違っているのは、玉泉寺さんだけということです。

《下田市の国指定史跡》

- ・ 田牛長谷寺 仏像
 - ・ 蓮台寺天神社 仏像
 - ・ 玉泉寺
 - ・ 了仙寺
 - ・ 吉佐美八幡神社
 - ・ 白浜神社 アイギリ
 - ・ 神子元島
- 下田市 運輸省

その他、図書館OA化推進事業に231万円の追加がありました。

今回の条例改正の提案理由は、国民健康保険税の算定に係る税率等の改正にあります。そして具体的な改定方針として、

- ① 応益対応能の負担割合を50対50を目安として算定する。
- ② 軽減税率は7・5・2割軽減を適用し、低所得者の減税を図る。
- ③ 軽減制度の活用により、国県市からの法定繰入金金の増額を図る。
- ④ 現行限度額（62万円）は法定限度額（73万円）まで改定する。ただし22年度は69万円。23年度より上限73

万円とする。

- ⑤ 突発的な対応は予備費で措置する。
- ⑥ 改定案の税率で減算した賦課総額は、前年度の税率で試算した賦課総額を上回らない額とする。と定められました。

この結果、国保加入世帯の45%に7・5・2割軽減税制が適用される事や、所得割・資産割の引き下げなどで、高所得者などを除く大多数の世帯において国保税の減額が図られる。との説明を受け、委員会として了承しました。

ただし、少子高齢化の急速な進行や後期高齢者保険制度の行方、また国保税滞納状況の悪化などにより、この改正も何年継続できるか定かではない。との説明もありました。

一般会計補正予算

2931万円

☆保険基盤安定繰出金

国民健康保険条例の改正に伴う約2253万円の税収減に対して、県4分の3、市4分の1の負担割合

で、保険税軽減基準繰入れ及び保険者支援をするものです。

国保会計に繰出します。

☆林業振興事業678万円

緊急雇用創出事業としての新規林業作業員育成事業委託（地域人材育成成分）で、伊豆森林組合に2名の雇用を委託します。

☆夏期海岸対策協議会

補助金130万円

白浜大浜海水浴場の砂浜段差解消と、露出した無数の石の撤去埋設作業のための予算計上です。

2年前にも同じ作業をしており、根本的な対策を講ずるべきだ。との意見が委員から出されました。

☆まちおこし

カジキサポートクラブ

補助金140万円

国際カジキ釣大会と、同時間催のマリンフェスタの会場が、新棧橋建設工事のため漁協製氷所横を使用できなくなり、旧ドック跡地に変更されました。

しかし、一日35万円の借地料が必要となります。国際カジキ釣り大会が下田市

にもたらず多大な経済効果を考えれば、大会4日間の借地料140万円の追加補助もやむを得ないとの意見が出され、委員会として了承しました。

下田市林道管理条例の 制定について

林道管理条例については、3月定例会に議員提案による発議第1号議案として上程され、本委員会付託議案として審査してきました。

しかし、下田市の林道15本のうちには純然たる林業振興のための林道ばかりでなく、産業道路や生活道路、観光道路としての林道など、いろいろな性格を持っています。

林道の実態を視察し、林業の現状を調査し、そして現在進行中の㈱ワイティービジネスからの産廃処分場営業許可申請の経緯を見ながら、より慎重な審査が必要であるとの理由で、3月議会において継続審査としました。



林道現地視察

3月定例会後、6回に及ぶ閉会中の継続審査を開催し、現地視察をし、県農林

事務所や伊豆森林組合から事情聴取を行って来ました。

そして、委員会の意見は次のように集約されていきます。

①下田市の林道は、林業振興の本来的機能だけでなく、産業道路、生活道路、観光道路等、多面的な機能を有している。従って、林道管理条例もこれら多面性を包括したものが求められている。

②下田市の林業は衰退著しいが、環境保全、地球温暖化対策等の面からも林業の振興が求められている。そ

して林業振興のためには林道整備が必要である。

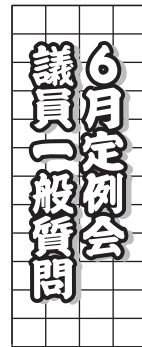
③産業道路としての性格を持つヒノキ沢林道は今、㈱ワイティービジネスからの産業廃棄物処分業の営業許可申請の取扱いをめぐって、大きな住民課題となっている。県、下田市、大賀茂・上大沢・蓮台寺の3区の住民、そして下田市全市民の間で協議が進められている。公害防止協定の締結なども課題として浮上してきている。

④下田市議会は平成21年9月に「下田市大沢地内における産業廃棄物処分業の再開を認めない意見書」を採択している。業の再開絶対反対の立場を表明している。その立場は今も変わっていない。

⑤産業厚生委員会は、委員全員が林道管理条例の必要性を確認した。しかし、今回の発議第1号議案については、その条文について様々な疑問点が指摘され、残念ながら採決されることができなかった。

⑥本委員会は、公害防止協

定の取扱いの経緯などを見ながら、下田市当局にも働きかけて、新たな林道管理条例案の策定に取り組み、早期制定を目指すことで意見の一致を見ました。



森 温繁 (清正会)

下田市の観光について

1) 各種イベントについて

Q 年間を通して数多くのイベントがあるが、五月のゴールデンウィーク期間にイベントを開催しないと、他地区に家族連れのお客様が廻って観光客が少なくなってきたらどうですか？

A 確かに黒船祭をはじめ数多くのイベントがあるが、ゴールデンウィーク期間中にはないので観光協会に申し入れ検討して行きたい。

Q あじさい祭期間中に下田公園下のトイレは使い勝手

手が悪いと不評だが改修の計画はないのか？

A 今後トイレの整備を進めて行きたいので、ボランティアガイドをはじめ担当者等の要望の強い所から整備して行きたい。

Q 下田特産の安価でもおいしい旬の魚等があるのでB級グルメの開発を考えるべき。

A 漁協、地元漁師等と相談しながら考えて行きたい。

(2) 広域圏観光について

Q 現在東海岸の二市三町で伊豆観光圏の認定を受ける事が出来たが、今後地域を拡大すべきと思うが？

A 松崎町、西伊豆町をはじめ伊豆市、伊豆の国市にも観光協会を通じ働きかけられている。

Q 富士山静岡空港を利用して来日している外国人旅行者誘致をする為、広域で直通バスの運行は考えられないか。

A 大変難しい面はあるが今後検討して行きたい。

病院問題について

Q 共立湊病院では最近予約がないと受診出来ない様な事を耳にするが、住民代表の市長としてはどの様に対応して行くのか。

A 指定管理者の期間中は、十分な対応が出来る様、申入れをして行く。

Q 指定管理者の期限が切れて新病院が開院するまでの期間、医療の低下が予想されるが、どの様に進めて行くか？

A 病院組合の臨時議会が近々開催され、百条委員会の報告もあると聞いているので、その後各首長でつくる運営会議の合意を得て全力で良い方向に持って行きたい。

田坂富代 (自公クラブ)

第2次下田市集中改革プランについて

Q 現集中改革プランの達成率と削減効果は、また未達成部分の主な内容とその理由は何か。

A 180事業のうち98事業54・4%・4億円の削減。未達成の主なものは、民間委託・統廃合・耐震化等。具体的には幼保・給食センター・公民館の統廃合等。未達成な理由は、財政的な問題と市民の合意に伴うものが多かったため。未達成部分は解決すべきものと認識している。

第4次下田市総合計画について

Q 第2次下田市集中改革プランの中心となるテーマが、実行可能な計画として記載されるのか。

A 当然中心となるテーマは入ってくるが、全てというわけではない。

財政について

Q 10年間の財政計画の市税・交付税の推移予測と、第4次下田市総合計画の基
本計画にあげる事業化実施の
為の一般財源確保は出来るのか。

A 平成32年度までの推計で、市税は約4億3000万円の減、普通交付税は平

成23年度7300万円・24年度9600万円の減。一般財源の確保は大変厳しく、未利用地の処分、施設の統廃合等さらなる行革の推進が必要である。

学校図書室・図書・子どもの読書について

Q 平成23年より新学習指導要領完全実施に伴い、小学校において必要とされる図書整備に係る経費は如何
ほどか。

A 国語科だけを取り上げても、各教室に1セット配置したとして、159万円の経費がかかる。

子宮頸がんのワクチン接種について

Q 3月定例会において子宮頸がんワクチン接種の、公費助成の検討という提起をさせて頂いたが、検討はされたのか。

A 今後検討していきたい。

土屋雄二（政新会）

Q 「下田市耐震改修促進

計画」により、平成27年度末までに法律上の耐震化率100%とする。と有ります。

下田市が所有する市営住宅は市内5箇所有り、柳原住宅は築60年、うつき原住宅は築57年と48年、丸山住宅は築55年から築51年、上河内住宅は築38年、旧大沢住宅は築38年、新大沢住宅は築16年と築14年と古い建物が多く耐震改修が可能な建物が有ると思えますが、市の対応をお伺いいたします。

A 柳原住宅、うつき原住宅、丸山住宅は老朽化の為に全て取り壊します。上河内住宅は平成24年度の大規模改修で排水詰まり、電気容量、給水管、雨漏り（3階1室）の改修を行います。財政状況から27年末までに100%は厳しい、事業選択して総合調整してゆく必要性が有る。

Q 丸山住宅の土地は認定外道路を除いて全てが6人の地権者の所有地ですが、建物取り壊し後、市ではど

の様な土地利用計画が有るのか。

又、丸山住宅内で利用されている道路は、登記処理もされずに有るがどの様な対応を考えているのか。

A 土地利用計画は有りません。未登記道路は道路位置指定を取ってある所まで分筆登記し、市に所有権移転登記をし、市道認定して市が維持管理していく事が良いと考えています。道路の形態は現状の形態で管理していきます。

藤井 六一（民友会）

下田・賀茂地域の医療問題について

Q 来年4月以降1年数ヶ月間、この地域から公立病院が姿を消す公算が大きい
が市長はどう思うか。

A その辺の見解ははっきりしていないので答弁は避けたい。今は病院組合、組合議会が一緒になっていい病院をつくろうと必死になって努力しているところだ。来年4月以降の医療体制の

構築、当然の責務だと思っている。

Q 国の方針、公立病院改革プランは地域の実情にあ
っていかない。今回の指定管
理者選びはこのプランに基
づいて行われたのでは。

A 応募してくれるところが無いのではと心配していたが2ヶ所名乗り上げてくれた。途中からいろいろなことがあって失敗したが、さらに新たな医療機関、JMAが出てきてくれた。これは急性期医療に力を入れてやっていくと言い、良い方向に向いている。今は1市5町の首長の合意で進んでいるし、これからも一心同体でやっていきたい。

Q 医療空白についての市長の認識は？

A 医療空白はないという認識ではとらえていない。

Q 市民の関心は医療空白は本当に起るのかということにある。

A 7月1日には新指定管理
者も決る見通しだし、病

院組合の百条調査の結果報告もある。これらが未定のうちは、協会と話をすることが出来ない。7月1日、そこから新しいスタートになる。

沢登 英信 (共産党)

株ワイティールビジネスの産廃処分業再開反対の取組について

Q 私たち「自然破壊と廃棄物公害を防止する住民連合会」は、5月19日不許可を求める1817筆の署名を県知事に提出しました。少なくとも住民合意のないものは許可しない姿勢を貫いてほしいと要請しました。
1) 地元では住民合意が得られる条件は全くないと思うが。
2) 不法操業の後始末がなされておらず、ワイティールビジネスの申請内容も疑問点が多く産廃公害が起きないよう具体的チェックを県に要請すべきです。
3) 黒い水や雨の度に発生する泡などについては、県

当局もその原因は解らないとしています。是非、松沢林道沿線の環境影響調査を業者にさせると共に県市一体となつて環境影響調査を実施し、原因を解明してください。

A 議員は住民連合会で、

この問題に熱心に取り組まれている。長い間の苦しみを再燃させてはいけない。12000筆を超える署名も知事に提出されている。私自身も共立湊病院建設と合わせ大きな問題と捉えている。県は申請日から50日程度で結論を出すところを1年7ヶ月も話し合いに依じてくれている。しかし、県の弁護士は不法操業の恐れがあるので不許可するという廃掃法の「恐れ条項」は使えない。不許可とすれば裁判になり99・9%敗訴し、業者と地元が話し合う間もなく許可せざる得なくなる」と説明している。市民にとつてベストとなる判断、公害防止協定を結んで条件付き許可を求めていきたい。林道管理条例については議会に上程されているので見

守りたい。

Q あくまで不許可処分を求めていくことが解決の道であり、地元住民が求めていることではないでしょうか。

A 下田クリーンセンター

については、県の処分業及び運搬業の許可申請が1ヶ月後に提出される。稼働前に住民に説明をする業者から連絡をもらっている。

土屋 誠司 (至誠会)

Q 幼稚園保育園再編整備基本計画を審議会に諮問する前に、地域住民に説明し、要望や意見を反映した計画案を作成すべきではないか。
A 基本計画案に地域住民の要望・意見を合わせて諮問する。

Q 新設認定子ども園は第3保育所跡では、津波の場合大きな被害が想定される。この設置は安全上如何か。

A 3次被害想定は0.5〜1m浸水であり、2階建てなので2階へ避難させるので問題ない。

Q 公立の施設は下田幼稚園・下田保育所・第3保育所と計画されているが、市中心部へ集中しすぎで市民全体の利便性では偏りがあるのではないか。第3保育所は借地であり年間339万円支払っている。例えば市有地の柿崎の淡交荘跡等は、行財政改革からも最適ではないか。

A 将来公立は1園とする計画なので、淡交荘跡は1818㎡で狭い。第3保育所跡は3322㎡でございます。

Q 観光立市として土日祝日・夜間の保育をどの様に考えているか。
A 11時間保育・土曜時間延長保育を考えている。夜間保育はニーズを調査して検討する。

Q 共立湊病院は1年1ヶ月の医療空白が明らかでは、

空白は作らないとしているが、現2次救急医療体制をどの様に維持するのか。
A 様々な選択肢があり努力している。

Q 聖勝会辞退理由の資料には、非公開である共立病院組合運営会議の議事録があり、管理者は非公開である議事録の漏洩などや、病院組合に与えた聖勝会に損害賠償を請求するのが筋ではないか。
A 一部事務組合内のことなので答弁できない。

Q 下田市の農業用地は20㍏以上の農業者しか認めないが、法の下限面積である10㍏に下げないか。
A 面積を下げると、農業経営が成り立たなくなるので下げない。

土屋 忍 (自公クラブ)

公共施設の耐震化と幼保再編整備等について
Q 過去に稲枠幼稚園の統合は当面考えていないと言

つていたが、今回の幼保の再編整備では大きく方向転換して、保育所四園と幼稚園二園を統合し認定こども園として行くとの事だが、どのような考えからこのような計画となったのか。

A 稲梓幼稚園は幼保一体化した施設としたいと言う方向性は示している。また、今回の再編整備は急激な少子化の変化に対応した案で、柔軟な保育時間や保育所でも幼稚園と同じような教育をして行くなど幼保で垣根の無い施設としたい。

Q 新設園の概算事業費は、総事業費がおよそ七億四千万円、既存の施設の耐震補強工事の方が財政的には軽くなるのでは。また起債はおよそ三億五千五百万円、一般財源としておよそ三億四千六百万円を充てるとなっているが、事業費の見込みは有るのか。

A 保育所四園を建て直すとおよそ三億八千三百万円、幼稚園三園を建て直すとおよそ七億三千八百万円

との試算が有る、今後の少子化等を考慮すると再編整備すべきと考える。また、予算的にも実現性の有る計画と考えている。

Q 統合して現在の第三保育所に通園となると遠方からの通園方法を検討する必要があるのでは。

A 時間的・距離的負担に対応するため、マイクロバスの運行など検討する必要がある。

Q 四月に稲生沢と浜崎の共同調理場を見せてもらったが、施設の老朽化に大変おどろいた。

特に稲生沢の共同調理場は学校と山に囲まれ一年中ジメジメとした環境と思われた。給食の配送はグラウンドの脇を通り、入ったら向きを変えるのも大変な所だ。衛生的にも相当問題有りと感じた。幼稚園と保育所の再編整備と同様調理場の改修や建て替えが必要ではないか。

A ①今年着工するが民間保育所の改築への補助②幼

保の整備の次に③共同調理場の整備と考えている。

鈴木 敬 (政新会)

Q 地域医療振興協会は、医療の空白を作らない為に引き続き賀茂地域で急性期医療に取り組むと言っているが、伊豆下田病院においてである。一方、共立湊病院からの撤退の意志は固いと思える。市長はどのように認識しているか。

A そのように認識はしていない。7月1日の病院組合臨時議会で次の指定管理者の議決と、1000条委員会の報告がある。それを見て振興協会と交渉に入る。

Q 次の指定管理者に予定されている社会医療法人ジヤパンメディカルアライアンス(JMA)に、平成23年4月からの共立湊病院の運営を要請するお考えがあるか。

A JMAとはその件に関しては全く白紙の状態にある。7月1日の病院組合臨

時議会の議決、1000条委員会の報告を見て、振興協会と交渉に入る。

Q 総合計画とは、10年先の世界・日本の姿を予測し、下田市がどうやって生き抜いていくかの方策を考え、提案し、実行していくものである。

第4次総合計画は単なる美事麗句に終わってしまい、下田市を根本的に変えていく具体的な実行案が出て来ないのではないか。現状追認しただけの計画になってしまわないか。

A 身の丈に合った実行可能な計画づくりは、厳しい社会環境を正面から受け止め、持続可能な行財政運営を進める上で必要である。

Q 下田市民憲章には、「はまゆうは、我等の香り、自然を大切にしましょう。」とあるが、市ははまゆうを無視しているのではないか。

A 検討します。



表彰

- 永年勤続議員表彰 (15年)
- 増田榮策議員が勤続15年の一般表彰を受けられました。
- 静岡県市議会議長会表彰 (1月28日)
- 東海市議会議長会表彰 (4月22日)
- 全国市議会議長会表彰 (5月26日)

人事案件

- 人権擁護委員の推薦について
- 朝比奈博光氏 (西本郷)
- 任期満了に伴い、引き続き推薦することに同意いたしました。
- 佐々木一宏氏 (白浜)
- 河井恵美子 (吉佐美)
- 2名を推薦することに同意いたしました。

6月定例議会審議結果

番 号	6 月 定 例 議 会 議 案 件 名	審 議 結 果
報第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成21年度下田市一般会計補正予算(第10号))	承 認
報第2号	専決処分の承認を求めることについて (下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について)	承 認
報第3号	平成21年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議 決 不 要
報第4号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度下田市一般会計補正予算(第1号))	承 認
報第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度下田市老人保健特別会計補正予算(第1号))	承 認
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
議第34号	静岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原 案 可 決
議第35号	静岡地方税滞納整理機構を組織する地方公共団体の数の減少について	原 案 可 決
議第36号	あらたに生じた土地の確認について	原 案 可 決
議第37号	字の区域の変更について	原 案 可 決
議第38号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議第39号	平成22年度下田市一般会計補正予算(第2号)	原 案 可 決
議第40号	平成22年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
議第41号	平成22年度下田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原 案 可 決
発議第1号	下田市林道管理条例の制定について	否 決

議 会 を 傍 聴 し ま し ょ う

◇市議会へのご意見ご要望をお寄せ下さい◇

編 集 後 記

6月の議会が終わり、梅雨のない北海道はいいなあと思っただのもつかの間、

表紙の国際カジキつり大会の写真を写した時には梅雨も明け、一転うだるような暑さとなりました。夏は暑くなければ困りますが、近年は熱中症になる方も多いうです。暑気ばらいには麦茶と梅干、昔ながらの知恵ですが、熱中症予防にも効果があるといえます。工夫をしながら元気に夏を乗り越えたいですね。

(富)

編 集 委 員 会

◇委員長 田坂富代
◇副委員長 岸山久志
◇委員 沢登英信

鈴木 忍
土屋 敬